

SGS NewsLetter

第2号

発行日 2011年2月18日

学部長あいさつ 「Family Spirit」



学部長 松林 正一郎

SGS NewsLetter 第2号をお届けします。

来る3月20日湘南キャンパスにおいて、第一回の卒業式を挙行します。SGS創設から4年、卒業する一期生の学生諸君は良く学びSGSの礎を築くことに大いに貢献してくれたと思います。それぞれの進路で社会に出ていくこととなりますが、厳しい就職事情の中にあって多くが道を切り拓いてくれました。後輩のためにも、素晴らしいことです。敬意を表します。

大学が取り組む課題は、出口・中身・入口の三つの充実であるとされています。中身である教育の質を向上させることにより、出口である就職を含めたキャリア開発を支援することになります。中身と出口のポリシーに沿って、入口、即ち多くの学生を惹きつけ入学試験を実施することになります。多摩大学は建学以来、実学、つまり社会の要請に応える学問と大学生活を提供することを旨としてきていますので、特に出口を意識した教育であるキャリア教育を重視しています。他の大学に先行して提供している、一年次からのキャリア形成論、二年次に8割近くが受講する本格的なインターンシップは有効なキャリア教育との評価を得ており、今後、更にキャリア教育プログラムを充実させることにしております。

本年の寺島学長の年頭所感と基本方針で、入口に関して、新卒高校生の受け入れを前提とする大学モデルから、社会人や外国人の学生を受け入れる

ことに注力することを言及しております。

また、グローバルとローカルは不可分の関係でありますので、国際性を尊重する多摩大として、多摩や湘南の地域と深い関係を持つことが必要であるというのが基本方針の一つです。SGSにおいても、藤沢市との提携、地元高校との高大連携、市教育委員会への協力に加えて、昨年11月、小中高とのつながりを深めるために神奈川県総合教育センターとの連携協定を締結しました。一方、出口政策として、藤沢市商工会議所など地域の企業や団体との取り組みも開始しました。これらの関係性を踏まえ、公開講座、聴講生や科目等履修生制度の提供を進め、後援会の方々、地元の方々、そして同窓生にも一層開かれた学部を目指したいと思います。

最後に、タイトルを「Family Spirit」としておりますが、私はSGSを常に「家族的」な場としたいと思います。小規模で、学生同士、学生と教職員の距離が近いということが、SGSの個性です。これにFamily Spiritが加わり、教職員と学生、学生同士が一人ひとりを厳しくも優しくも思いやる精神がみなぎるキャンパスであり続けたいと思います。そのような精神が、今の社会が求めているホスピタリティやコミュニケーションの原点であると考えます。そのような環境と雰囲気の中で学生諸君には学業、サークル活動、コミュニティ活動、留学など幅広い学習に大いに積極的に取り組み充実した学生生活を過ごしてもらいたいと思います。

今後のスケジュール

- 3月20日(日) 卒業式
- 4月1日(金)～8日(金) オリエンテーション
- 4月5日(火) 入学式
- 4月9日(土) 春学期 授業開始
- 4月18日(月)～22日(金) 春学期 履修科目登録期間
- 4月28日(木)～5月11日(水) 春学期 履修科目確認期間
- 4月30日(土)・5月2日(月) 特別研修日
- 7月29日(金) 春学期 授業終了
- 8月1日(月)～5日(金) 春学期 期末試験期間
- 8月6日(土) 夏季休業期間 開始

発行責任者：
学部長 松林 正一郎

多摩大学
グローバルスタディーズ学部

〒252-0805
神奈川県藤沢市円行
802番地
Tel:0466-83-4141

小学校英語ボランティア活動報告

2011年度から小学校では、5・6年生の外国語活動の授業が本格的に実施となります。すでにグローバルスタディーズ学部がある藤沢市の教育委員会では、先行導入による準備を進めており、2010年度より、外国語活動(英語)のボランティアアシスタントを募集、現在グローバルスタディーズ学部の学生のみ32名が登録をしています。アシスタントは、4月に教育委員会のオリエンテーションに参加、7月には小学校のALTの授業見学会を行いました。

活動内容は、学級担任が指導する外国語活動のアシスタントとして簡単な英語でのやりとりやリーディング、スピーキングで活動を支援します。

藤沢市内の公立小学校は35校あり、原則45分の授業に対し、アシスタントが1～2名担当します。今年度は、高谷小学校・中里小学校・六会小学校の3校で実施、10名の学生が活動しました。初の試みのため、教育委員会も現場の教員も手探り状態の段階ではありますが、参加した学生からは、「児童が楽しみながら、英語を話す姿がたまらない」、「参加してよかった」との感想をもらいました。

先行導入のため、なかなか教育委員会から募集依頼数が増えず、登録者全員の参加には至っていませんが、次年度の本格導入へ向け、多くの学生が協力できることを願っています。

神奈川県立総合教育センターとの連携を開始

教職員研修を実施

多摩大学湘南キャンパス、グローバルスタディーズ学部は、神奈川県立総合教育センターとの積極的な連携として、2010年11月6日（土）に、協定を締結し、調印式を行いました。

教員研修や共同研究、学生実習の受入れなど、それぞれの資源を活用して、大学教育の充実と教員の資質・能力の向上のために相互協力を図ることが目的です。

連携の主な内容

1. グローバル社会で活躍する人材育成をめざす、多摩大学グローバルスタディーズ学部のノウハウを、県立総合教育センターが行う教員研修や研究に活用する。
2. 神奈川県立総合教育センターがもつ教育相談等のノウハウを提供することで、多摩大学グローバルスタディーズ学部が行う学生支援の充実に向けて協力を行う。

2011年1月13日（木）には、湘南キャンパスにて神奈川県立総合教育センターの講師を迎え、教職員の研修セミナーを開催しました。外国人教員も多く参加、英語による逐語通訳形式で実施しました。

テーマは「発達障がいの理解」です。発達障がいがある人が新聞、テレビでも多く取り上げられる今、大学においても学生への対応の必要性が高まっていることから、今回の研修を企画しました。発達障がいの特性や行動パターンなど、事例の紹介や体験を交え、周囲からの支援の必要性などを学ぶことができました。



国際交流

秋入学生 手巻き寿司歓迎パーティー

9月にフィンランド、チリ、インターナショナルスクールからの新入生、ロイヤルメルボルン工科大学、ブレイメン州立経済工科大学からの交換留学生を迎え、**手巻き寿司歓迎パーティー**を開催しました。



留学プログラム 学生フォト&エッセイコンテスト

11月の学園祭では、「Study Abroad Café」と称したカフェを開き、これまでの留学プログラムを紹介し、多くの方に来場して頂きました。

同時に、留学プログラムに参加した学生が応募した**Photo & Essay Contest**の表彰式を行い、それぞれ3名の学生が受賞しました。



写真：フォトコンテスト1位作品

「Festival in the Village: Dancers are all men☆」

撮影者：2年 五木本 さくらさん

今年度は、夏・春合わせて46名の短期留学、1名の長期留学参加者がありました。今後も、より多くの学生が海外で様々な体験をできるようサポートし、留学生と日本人学生の交流の場となる機会を多く作っていきたくて思っています。

学園祭

学園祭 “SGS Festa” を開催



11月6日（土）・7日（日）に学園祭を開催しました。

野外ステージで学生と共に進行役を務めていただいたのは、今年度からグローバルスタディーズ学部の講師も務めている、湘南で人気のDJハギーさん。様々なイベントを楽しみトークで盛り上げていただきました。

また、大講義室では寺島学長による講演を開催いたしました。後援会の皆様、近隣の方々を含め、たいへん多くの方に聴講いただきました。学生には、大学の学長が講演しているという意義を各自が理解して、全員に参加してもらいたかったと思います。

ミニオープンキャンパスも同時開催され、入試相談と学園祭を楽しむことが同時にできるとあって、多くの受験生が立ち寄りました。現役高校生には、大学に足を運び、本学の魅力を知っていただけるよう、広報努力を重ねてまいります。

2011年度の第5回となるSGS Festaは、すでに新しい実行委員長、副委員長が決定(いずれも1年生)し、始動しています。今まで以上に、グローバルスタディーズ学部ならではの特色を出せる学園祭を、また、より一層地域の方々に多摩大を理解していただける企画運営を行ってまいります。



学生活動



クリスマスイベントを開催



12月17日（金）に学生会企画として、“Winter Holiday Party”を開催しました。初めて1年生を中心とした企画で、準備に、当日運営にと大忙し。次年度の学生イベント運営に向けてよい経験ができました。

当日は、色々なゲームや普段お世話になっている人へ匿名で手紙を届ける「SECRET SANTA」の他、参加者全員によるプレゼント交換など、パーティーはたいへん盛り上がりました。

学生会の次年度の目標は、学生が企画から運営まで、大学生らしいイベントを年間通じて開催して行くことです。様々なイベントを通して学生同士の交流機会を増やすこと、また地域貢献を積極的に行いたいと考えています。

学業とアルバイト中心の学生スタイルとなってしまう今日ですが、学生生活において、大学という場が、最も魅力ある場所だということを、認識してもらうための仕掛けづくりを展開していく2011年としたいと思います。



就職状況

－ 4年生 －

1月末日までの本学部の現在の内定状況は、就職希望者44名に対し39名が内定を得て、内定率は**88.6%**となります。内定者のほとんどが就職活動を終了しています。

(厚生労働省が発表した昨年(2019年)12月1日時点の内定率は、68.8%でした。)

内定先は、**JTB、キューピー、日本通運、アイリスオーヤマ、住商メタレックス、内外日東、神奈川県警**等サービス業を中心に55社(重複内定含む)となります。(主な内定先参照)

一般的に今年度の就職戦線は「長期化」が大きな特徴です。首都圏の多くの学生が就職活動を継続していると同時に、採用活動を継続している企業も多く、今年度は、3月末日まで就職活動が続きます。以前の就職氷河期のような求人が非常に少ない状態とは違い、「企業は採用できない、学生は就職が決まらない」というミスマッチが多く、就職活動が長期化しています。

主な内定先	
旅行・観光・イベント	JTB、ロイヤルホール、ホテル銀水荘、新日本観光
商社	住商メタレックス
運輸・物流	日本通運、日新、内外日東
食品	キューピー、メリーチョコレート、文明堂食品工業
外食	日本レストランエンタープライズ、ドールコーヒー
小売・流通	ガリバーインターナショナル、銀蔵、アイスタイル、資生堂販売、JAマイنز、COSTCOホールディング
アパレル・衣料	ディーゼル・ジャパン、マイム、Abercrombie & Fitch
金融	第一商品
情報・通信・メディア	電通テック、マイクロソフトウエア、光通信、ピアラ、アートフリース、データプロセス、ヒューマンクレスト、デジタルフロンティア、フジデン
住宅関連	アイリスオーヤマ、積水ハウス
その他	神奈川県警

－ 3年生 －

現在、多くの学生が会社説明会に参加したり、エントリーシートを提出しています。早い企業では、選考も始まり、いよいよ、就職活動本番の時期となりました。本学部の就職希望学生約150名も、慌ただしい日々を送っています。学内では、1月の通常のキャリア支援講座終了後、三井物産、JTBを始めとする企業約20社の学内企業説明会を開催します。また、キャリア支援講座実践編として、自己PR、志望動機を始めとするエントリーシートの添削や筆記試験講座、模擬面接等の就職試験実践講座を毎週開催して、厳しい就職環境に備えています。

キャリア支援課では、厳しい就職環境を考え、従来より実施している学生個人の希望、適性を重視したきめ細やかな個別指導を中心に学生の就職活動を支援していきます。



学内企業説明会のスケジュール

- 1月25日(火)16:30～18:00 横浜信用金庫(金融)
- 1月31日(月)13:00～14:30 内外日東(物流)
- 2月 9日(水)15:30～17:00 クリークアンドリバー社(テレビ番組等制作会社)
- 2月14日(月)15:30～17:00 レリアン(アパレル)
- 2月17日(木)11:00～12:30 積水ハウス(住宅)
- 2月17日(木)15:30～17:00 JTB(旅行)
- 2月22日(火)11:00～12:30 ぴあ(チケット、出版、情報サービス)
- 2月22日(火)11:00～12:30 防衛省自衛隊(公務員)
- 2月24日(木)13:30～15:00 ノジマ(家電販売)
- 2月28日(月)11:00～12:30 クリスタルホテル(ブライダル、ホテル)
- 2月28日(月)15:30～17:00 オリピック(流通)
- 3月 2日(水)13:30～15:00 オンワード樫山(アパレル)

※三井物産を含め数社は、現在調整中です。(2月18日現在)



My Little Commencement

I hate to say goodbye, but I will retire from being a full-time professor at SGS this coming March. It is really somewhat shocking to discover that time does indeed fly like an arrow! I feel as if I just started teaching only a few years ago. As the first graduation ceremony for SGS approaches, I share with the School's first graduates a strong sense of graduating from Tama University. At this juncture, it is more appropriate to recall that the graduation ceremony is also referred to as a "commencement" in the United States, with a positive emphasis on new "beginnings". So, like the first graduating students from SGS, I will be starting a new life from April.

However, there is also a sense of continuation, because I will be starting my new life as a part-time lecturer at SGS. In the next academic year, I will be offering two courses; my two courses related to Shakespeare. I hope to meet many SGS students in my classes. In addition to these elective courses, I have also been asked to provide students with study support in the afternoons from Monday to Wednesday in a special room (tentatively being called "support center"). It would be a great pleasure for me to come to SGS and meet with any students who might benefit from this additional support. Please let me know if you have any problems or questions that I can help with.

定年退職：生田 理恵子先生

